

日本臨床泌尿器科医会会報

日本臨床泌尿器科医会のURL

<http://www.uro-ikai.jp>

第 55 号

巻 頭 言

日本臨床泌尿器科医会 会長 宮崎 良春

平成31年の新しい年を迎え、そして5月より号元が変わり、浩宮皇太子殿下が新天皇に即位されることを国民の1人としてお祝い申し上げます。

平成29年に吉田英機会長、平成30年に吉田豊彦先生が御逝去になり、本会にとって重慎が続けてなくなり巨星落ちと実感しております。二人の教えを念頭におきながら今後とも会務に専念したいと思っております。

さて、本年10月は消費税10%へ引き上げの年にあたります。政府は以前より10%引き上げ時に医療に対する損税を解消すると言っていましたが、果たしてそのようになったのか、日本医師会は今まで通り診療報酬に上乘せすることで同意したとの報道があるようです。

基本診療料(初診料・再診料など)にプラスする形で医科がプラス1600億円、0.48%とのことですが、本当に将来にわたって問題ないのか疑問です。例えば消費税率が更にも上がって15%、20%になっても安心なのか疑問に思うのは私だけでしょうか。

今年をご承知のように統一地方選挙、参議院選挙の年です。この重要な年にまたもや厚生労働省による勤労統計不適切調査です。前回の安倍第一次政権時の年金問題、昨年の財務省の回文書書き換え問題など、官僚公務員の国家国民に対する腐敗はどこまで続くのか暗たんたる気持ちです。

このような事態は政権与党により強く影響しますので今後の安倍政権に悪い影響がないかと不安に思います。

今年が猪年です。このような不安をふっとばして猪突猛進に会務を進めていきたいと思っております。

今年の活動目標

日本臨床泌尿器科医会 副会長 清原 久和

会員の先生方、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年2月に今後の日臨泌の活動方針を決めるためほとんどの理事が参加したワークショップで理事の先生から様々なご意見を頂きましたが、実行までには道半ばというところでもあります。この中で保険診療の要望については、外保連への参加、保険診療に精通した理事の方々の着任により、また日泌学会保険委員会との連携も相まって、従来よりも特に日常診療の保険改訂に向けてよりパワーアップされました。その他ワークショップで求められた課題としては、全国組織の特性を生かして、全国地方医会との連携をして地域の医会情報を提供すること、泌尿器科一般診療のアンケートによる情報収集、日本医師会との連携による泌尿器科診療の全国への広報、オフィスウロロジー部の全国組織体系の確立、在宅医療をはじめとした高齢者排尿管理評価の向上への取組、開業泌尿器科医の経営指標の調査研究、大学、医局を辞めた泌尿器科医のライフプランの提示、勤務医の定年後の支援、事業継承の支援などが挙げられました。

会員の先生のご支援、ご協力を得てこれら諸問題にしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

今年の抱負

日本臨床泌尿器科医会 副会長 山口 秋人
原三信病院

あけましておめでとうございます。

平成最後の新年をみなさんいかがお過ごしされたでしょうか。平穩にお過ごしただけなものと思っています。本年は2月17日(日)に日本臨床泌尿器科医会の理事会が開催されますので、そのことを思いながら書かせていただきます。

昨年には大阪においてグランヴィア大阪で日本臨床泌尿器科医会ワークショップが2月11日から1泊2日の日程で、日本臨床泌尿器科医会の理念、社会保険部およびオフィスウロロジー部に分かれて行われました。役員の方々が熱心に討議され、今後の日本臨床泌尿器科医会の発展に寄与できるものになったと確信しました。私は事業部で私は学術部のまとめ役となっていますが、昨年もまたたいしたこと出来なかったので本年はもっと積極的に活動したいと思っています。

私事ですが昨年9月19日に70歳をもって原三信病院の理事、副院長および主任部長の職を退任し顧問として引き続き常勤することになりました。本年3月までは治験の責任医師を続けますが、その後は解放されますので時間的余裕ができることを楽しみにしています。そこで昨年不十分だった臨床検討会、オフィスウロロジー、各地の講演会および市民公開講座の支援に頑張りたいと思っています。各地の会員の皆さんにご協力をお願いいたします。

話は変わりますが、2020年は保険改定の年です。本年はそのための要望をまとめて厚労省に提出する年になります。日本泌尿器科学会以外の外保連加盟の泌尿器科関連学会は日本泌尿器科内視鏡学会、日本排尿機能学会そして日本臨床泌尿器科医会です。各学会から出た提案を協議して、どの学会からどの優先順位出すかを協議するための拡大保険委員会が昨年初めて開催されました。私はPVP研究会の代表世話人をしており、日本泌尿器科学会保険委員長の高橋悟先生と共同で経尿道的レーザー前立腺蒸散術(PVPとCVP)の保険点数の改定を提案したために、本委員会へ参加させていただきました。日本臨床泌尿器科医会から斎藤忠則副会長、正井基之常務理事、増田光伸常務理事、山口健哉理事、賀屋仁理事および本間之男理事と多くの役員が委員となっておられ、初めての参加にもかかわらず穏やかに議事に参加できました。最終的には1月23日の第2回目の委員会で決まりますが、日本臨床泌尿器科医会の要望事項は外来日帰り前立腺生検法と経皮的腎瘻拡張術が新設での提案になります。私の担当の経尿道的レーザー前立腺蒸散術は幸い日本泌尿器科学会からの新設の第1位で要望することになりました。先は長いのですが結果が気になるところです。

本年は旧年以上に日本臨床泌尿器科医会のために尽くせたらとの思いをもって、新たな年を迎えました。みなさん、よろしく願いいたします。

今年の抱負

日本臨床泌尿器科医会 専務理事 岩澤 晶彦

私は2014年より日本臨床泌尿器科医会(日臨泌)の専務理事を拝命され、重責を果たすべく努力してまいりました。しかし、未だ至らぬことが多数あり、会員の先生方にご迷惑をかけておりますが、日臨泌が更なる飛躍するよう精進して参りたいと存じます。そこで、この度専務理事の立場から見た日臨泌の今年の三つの抱負(健康、連携、会員数の増強)について述べさせていただきます。

人生100年時代が到来したと言われ、平均寿命は今後も伸びる傾向にあり、本格的な長寿化への備えが必要な時代に突入しました。国民の健康管理のひとつとして、排尿管理があります。排尿に関する諸問題は、QOLの面からも大切で、その任務を担っているのが我々泌尿器科医です。今後、本邦の超高齢化社会において泌尿器科医の立場は益々重要視されております。

今年の政治の日程として、4月に統一地方選挙があり、5月1日に新天皇即位、6月28日に大阪でG20首脳会議、7月参議院選挙、そして10月1日に消費税10%の引き上げがあり、医療情勢は益々厳しくなりそうです。

1)今年の抱負として第一に掲げたいのは、我々医師も国民全員も健康でいたいことです。健康の定義についてWHOは1998年に新しい提案がなされました。すなわち健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、physicalにもmentalにもspiritualにもsocialにもすべてが満たされている状態にあることです。具体的には、規則正しい食生活と適度な運動、良質な睡眠をとるだけではなく、社会の人と多く触れ合うことが大切でしょう。また、病気にならないよう定期的に検査を受けられ、早期発見、早期治療の予防医学がさらに浸透していくものと思います。

2)つぎの抱負として日臨泌がさらに充実するためには、他の領域との連携をさらに高めていくことです。主に四つの連携の重要性についてまとめてみました。①日臨泌が発足当時から協力助け合っているのが日本泌尿器科学会です。以前に比べて緊密なコミュニケーションがとれてきており合同懇話会も開催されています。更に、増加している女性泌尿器科医の活動を支援するため2014年に発足した「男女共同参画委員会」との連携にも力を入れています。②日臨泌は日本医師会との連携を図っています。日本医師会会長の横倉義武先生は、年頭の挨拶で、健康寿命の延伸と、かかりつけ医機能研修制度を充実させ、関係各所との連携を密に図りながら、かかりつけ医を中心とした地域包括ケアシステムの構築に全力を尽くしたいと述べています。当会もこの方針への協力体制を整え

てまいります。③日臨泌は他の科との連携に力を注いでいます。各分野の臨床医会12団体で構成される日本臨床分科医会代表者会議が年1回開催されておりましたが、2014年から年2回となりました。日本医師会の会長や副会長、常任理事も参加されており、日本医師会との密接な連携だけではなく、他の科の医師との協力体制の構築に力を注いでいきたいです。④日臨泌は各地方の泌尿器科医会と積極的に連携をとっています。全国では大阪市と横浜市が势力的に活動しており、地元の泌尿器科医を対象に定期的な講演会等を開催して各医師の密なる連携をとっています。北海道では、北海道臨床泌尿器科医会が日臨泌の下部組織とあり、その他札幌市泌尿器科医会では年2回の理事会と総会を開催しています。日臨泌は地方の泌尿器科医会の問題点等をフィードバックして頂き、理事会で解決して連携していければ幸いです。

3)日臨泌はさらに会員数の増強に努めていきたいです。閉院や高齢のため脱会される先生が多い中で、各都道府県の理事の先生方のお力で、日臨泌は現在1,610名(女性会員18名)の会員を擁しています。日本泌尿器科学会の正会員数は8,828名(女性会員621名)ですので、その18%が日臨泌に加入していることとなります。今後も、会員の皆様の日々の診療にお役に立つことができる日臨泌を築き上げ、女性会員を含め更なる会員数の増加を目指してまいります。

今後の21世紀の医療は、在宅医療が重要視されると同時に、デジタル化、人工知能、IoTといった技術革新によって大きな時代の転換点に来ております。そのなかで、会員の先生方のご協力のもと専務理事としての会務を遂行してまいりたいと存じます。

消費税増税に伴う診療報酬改定について

日本臨床泌尿器科医会 常務理事 正井 基之

本年10月には消費税が8%から10%への引き上げが行われることになっています。

消費税増税に伴う控除対象外消費税の増加は診療報酬にて手当されることになり、10月に診療報酬改定が行われる予定です。前回の5%より8%への消費税増税の際には診療報酬改定にて補てんがおこなわれましたが、医療機関の規模や科により偏りがあり大病院には十分な補てんがおこなわれていなかったことが判りました。そのため今回の改定は前回の消費税増税時の改定分を含めた5%分増税の対応がおこなわれることになっています。

改定の主体は初診料、再診料、入院料などの診療基本料の上げが行われることになると思われます。しかい診療科によって消費税増加の影響はことなるため、今回の増税による影響が十分に診療報酬改定により補てんされているか検討する必要があると思っています。臨床泌尿器科医会では特にオフィスウロロジーに対する影響を見極め今後の対応を検討していく必要があると考えています。

今年の抱負

日本臨床泌尿器科医会 常務理事 増田 光伸

新年あけましておめでとうございます。

私事で恐縮ですが、この4月で4年間務めさせて頂いた泌尿器科学会専門領域委員会オフィスウロロジー部門の部会長の任期が終わります。その他、専門医制度審議会・将来計画委員会・卒後教育部会などの委員も同時に任期が終了します。泌尿器科学会の内保連と保険委員会の活動も行っていますので、ほぼ毎月のように委員会や学会のイベント、講演依頼などの何れかが入り、この4年間はクリニックのやり繰りが本当に大変でした。この5月からは、平穏な生活に戻れると今から楽しみにしております。

日臨泌に目を向けますと、一昨年の秋にオフィスウロロジー部が発足しました。その後、「2020年度診療報酬改定に向けての要望項目」の調査、「泌尿器科診療所におけるレセプト1件あたりの平均点数」の調査、「オフィスウロロジー部の委員を主な都道府県に配置」などを行ってきました。オフィスウロロジー部からの要望のうち、「前立腺針生検法の日帰り加算」を日臨泌から提出することが決まり、厚労省に提出する医療技術評価提案書の作成を行っているところです。レセプト点数の調査結果も、昨年9月に日臨泌会報の別冊として発刊させて頂きました。オフィスウロロジー部の委員を主な都道府県に配置することで、日泌総会のシンポジウムや卒後教育プログラムの座長や演者の選定の幅を広げることが出来ます。また、今後行う予定の各種調査も円滑に行われていくと思います。今年は、1件でも多くの県に委員を配置出来るようお願いをしていく予定です。

日臨泌のオフィスウロロジー部には、未だ責任者が決まっていません。いつまでも責任者が不在な状態で、事業部を発展させることは不可能だと思います。この4月から泌尿器科学会のオフィスウロロジー部の部会長になられる先生に、日臨泌のオフィスウロロジー部の責任者を兼任して頂き、事業の継続と発展をお願いしたいと思います。

第14回臨床検討会を終えて

日本臨床泌尿器科医会 理事 賀屋 仁
南はとがや泌尿器科・内科クリニック顧問

2018年10月28日(日)に埼玉県さいたま市・パレスホテル大宮で開催されました「日本臨床泌尿器科医会第14回臨床検討会」には大勢のご参加を頂き大変ありがとうございました。埼玉での開催は初めてで、なにかとご不便、ご迷惑をおかけしたとは思いますが、ご支援ご協力を頂きました多くの方々に深く御礼申し上げます。

今回、午前中のみ的一般演題発表にもかかわらず、会員の皆様の御蔭で17題が集まりました。その内オフィスウロロジーに関する演題が4題、機器などに関する演題が4題、薬剤に関連する演題が4題、手術に関する演題が5題でした。各演題とも他の泌尿器科関連学会では伺えない貴重な演題ばかりで、活発な討論をしていただき予定していた時間に収まりきらず十分な討論ができなかったことは大変申し訳なく思いました。

教育セミナーは演題を2つ用意しました。教育セミナー1は最近急増している社会問題化している梅毒について「急増する梅毒の臨床現場」の演題でプライベートケアクリニック東京 院長 尾上泰彦先生にお願いしました。印象に残る多くの画像を取り入れた臨床現場で即戦力のつく講演で、梅毒の診断治療に苦勞されている多くの先生方からの質問がありました。また、教育セミナー2は今回のメインテーマ「夜の排尿管理で朝はすっきり」に関連して「超高齢社会における実践排尿ケア」の演題で日本大学医学部泌尿器科学系泌尿器科学分野主任教授 高橋悟先生にお願いしました。多種にわたり、また興味深い内容でこれからの超高齢者排尿管理の課題及び実践に役に立つご講演でありました。時間が押しているにも関わらず多岐に渡る多くの質問があり、企画しましたものとしてありがたく思いました。

10月下旬埼玉県は紅葉も始まり良い季節でお出かけ日和にも関わらず第14回臨床検討会に参加し活発な討論をして頂きありがとうございました。今回の検討会が今後の日常診療にお役立ていただけることを願うとともに、会員の皆様に感謝申し上げます。

事務局長より

事務局長 秋山 喜久夫

新年あけましておめでとうございます。昨年は日本臨床泌尿器科医会の運営に種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

- ① 日泌保険教育プログラムで第83回日本泌尿器科学会東部総会(東京)では、斎藤忠則副会長、第68回日本泌尿器科学会中部総会(名古屋)では、清原久和副会長、北村浩二理事、第70回西日本日本泌尿器科学会総会(長崎)では、赤枝輝明理事に各審査委員としてのお立場から「知って得する泌尿器科の基礎的知識」をご担当いただきました。担当の理事の先生方ご苦労様でした。
- ② 昨春4月の診療報酬の改定に伴い、会員の保険診療にお役に立てるよう昨年10月に「保険診療の手引き第12版」を発行いたしました。作成にあたりましては清原副会長、正井基之常務理事、保険委員長賀屋仁理事、増田常務理事、小川理事、山口(健哉)理事の先生方にご尽力いただきました。また、斎藤副会長に監修していただき、充実した内容になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。
- ③ 日本臨床泌尿器科医会第22回総会・特別講演会・全国審査委員懇談会を第107回日本泌尿器科学会総会時(平成31年4月21日名古屋)にて行います。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。尚、本学会を主宰されます日泌会長 市川智彦千葉大教授には既に表敬訪問をさせて頂きましたが、弊会の為色々ご尽力、ご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。
- ④ 本年度弊社主催で開催予定の第15回臨床検討会は大分臨床泌尿器科医会会長の高橋真一先生の会長の元、弊会の酒本理事のご尽力にてホテル日航大分オアシスタワー(大分県大分市)、11月23日(土)にて行うべく準備をしております。同封の演題募集要項をご参照の上、たくさんの演題募集ならびに会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。尚、昨年10月28日開催されました第14回臨床検討会では弊社賀屋仁理事の会長のもと、盛会に終わられましたことをご報告申し上げます。ご参加、ご尽力いただきました先生方には厚く御礼申し上げます。また、賀屋仁理事には弊社保険委員会の先生方とともに、泌尿器科保険診療の向上のための活動として、内保連、外保連、日医、厚労省への働きかけを担って頂いております。その活動報告は随時ご報告させていただきます。

- ⑤ 末筆ながら、弊会の設立、発足時より副会長、監査としてご尽力をいただきました吉田豊彦先生(千葉みはま病院)が昨年末にご逝去されました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

また、今後も会員の先生方にお役に立つ情報を、ホームページ等でお知らせいたします。本年も引き続きご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本臨床泌尿器科医会 第22回総会・講演会開催のご案内

下記の要領にて会議を開催いたします。講演会の中川俊男先生をお招きの予定をしております。関係各位が万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようご案内旁々お願い申し上げます。

記

日時：平成31年4月21日（日）13：30～

場所：名古屋国際会議場 3F 431+432

第107回日本泌尿器科学会総会を主催されます会長 市川智彦先生のご厚情により総会会場を拝借しております。

■ 第22回総会 13：30～14：15

議案 第1号議案：議長の選出

第2号議案：平成30年度事業報告

第3号議案：平成30年会計報告

第4号議案：役員について

第5号議案：平成31年度事業計画案

第6号議案：平成31年度予算案

第7号議案：その他

日本臨床泌尿器科医会・第22回総会のご案内の往復葉書を3月上旬にお送りさせていただきます。第22回総会にご出席される方もご欠席される方も出欠葉書を投函ください。また、欠席されます方は、必ず委任状に署名・捺印をお願いいたします。

■ 講演会 14：15～15：15（予定）

演者：中川俊男 先生（日本医師会副会長）

以上

日本臨床泌尿器科医会平成31年事業計画案

- * 会報発行
 - 2月 会報第55号発行
 - 8月 会報第56号発行
- * 総 会
 - 4月21日 第22回日本臨床泌尿器科医会総会(名古屋)
 - 日本臨床泌尿器科医会総会特別講演会(名古屋)
 - 8月頃 第108回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問(神戸)
- * 会長講演
 - 3月14日 西宮市泌尿器科医会総会
- * 第14回臨床検討会
 - 11月23日 大分 オアシスタワーホテル
- * 全国保険審査委員懇談会
 - 3月 東京、神奈川、埼玉、大阪保険審査委員検討会(東京)
 - 4月21日 第33回全国保険審査委員懇談会(名古屋)
- * 日本臨床分科医会
 - 2月 第21回代表者会議
 - 8月 第22回代表者会議
- * 保険教育プログラム・保健委員会
 - 4月18日～ 4月21日 総会(名古屋)
 - 10月 3日～10月 6日 東部総会 (東京)
 - 10月31日～11月 3日 中部総会 (大阪)
 - 11月 7日～11月10日 西日本総会(島根)
- * 理事会
 - 2月17日 第1回理事会 (大阪)
 - 4月21日 第2回理事会 (名古屋)
 - 11月23日 第3回理事会 (大分)
 - 7月頃 常任理事会
- * その他
 - 1月31日 「医学生・研修医をサポートするための会」(大阪)
 - 3月25日 日本泌尿器科学会懇話会(東京)

必要な方はコピーをして御利用下さい。

日本臨床泌尿器科医会事務局 御中

FAX : 0798 - 65 - 0863

平成 年 月 日

日本臨床泌尿器科医会・変更届

ふりがな		
氏名		
◆勤務先	変更 → 有・無	
新勤務先	名称	
	郵便番号	
	住所	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-mail	
◆自宅	変更 → 有・無	
新自宅	郵便番号	
	住所	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-mail	
◆連絡先 (郵便物の送付先) / どちらかに○印を付けて下さい。	・勤務先 ・自宅	
◆所属 / いずれかに○印を付けて下さい。	・開業医 ・開設者 ・勤務医 ・その他 ()	
◆開業・開設	平成・昭和	年 月 日
その他 (通信欄)		
◆退会について	退会希望 / いずれかに○印を付けて下さい。	
	・退職 ・閉院 ・その他 ()	

*記載していただきました個人情報は、会員の管理、郵便物の発送等日本臨床泌尿器科医会以外で使用しません。
 (日本臨床泌尿器科医会・会報第55号)

訃 報

元監事 吉田 豊彦 先生 (平成30年 11月)

この場をお借りして、謹んでご冥福をお祈りいたします。

◇ 事務局より ◇

- * 会報第55号をお届けいたします。
- * 平成31年度年会費及び過年度年会費未納の会員は、至急お振込下さい。
年会費 開業医・開設者 20,000円
勤務医・その他 3,000円
- * ホームページよりログインして、ご自身のマイページをご確認下さい。
- * 入会ご希望の方は、ホームページより入会申し込み書をダウンロードしてご利用下さい。
- * 転勤・転居・住所表記等の登録事項の変更等がございましたら、事務局まで変更届をFAXもしくはE-mailでお知らせ下さい。変更届は、会報やホームページよりダウンロードしてご利用下さい。
- * 個人情報の漏洩には、細心の注意を払いデータ管理をしております。

発 行 日／平成31年2月21日

発 行／日本臨床泌尿器科医会

〒662-0832

兵庫県西宮市甲風園1丁目10-11

秋山泌尿器科内

TEL:0798-65-0854 FAX:0798-65-0863

E-mail: akiyamahinyoukika@cosmos.ocn.ne.jp

発行責任者／宮崎 良春

製 作／株式会社プランニング フォレスト

大森 啓次